



柏崎周辺農業水利事業所 調査設計課

平成28年6月25日(土)に、市野新田^{いちのしんてん}ダムの建設地近傍である柏崎市女谷^{おなだに}地区で開催された「ほたるまつり」に協力参加しました。これは、毎年行われていた「綾子舞^{あやこまい}の披露」と「ほたる鑑賞」の2つのイベントを統合した、鵜川ほとるの会と鵜川振興協議会が主催のお祭りです。当日はあいにくの雨模様となりましたが、柏崎市内外から多くの参加者が訪れました。

● 綾子舞の披露

綾子舞とは、永正6年(1509年)長尾為景^{ながおためかげ}(上杉謙信の父)に攻められ、越後国守護上杉房能^{うえすぎふさよし}が自刃した後、当地へ逃れて来た房能の妻、綾子^{あやこ}によって伝えられたものと伝承されており、国の重要無形民俗文化財に登録されている歴史ある踊りです。笛や太鼓などで奏でられる音楽に耳を傾けながら、時に優雅で、時にキラのある舞に、観客は終始魅了されている様子でした。



雨天にもかかわらず、大勢の来場者が訪れ、綾子舞の鼓^{つづみ}の音が聞こえる中、地元産の山菜を使用した天ぷらそばや豚汁、野菜の直売などに足を止め、舌鼓を打っていました。



ほとるのように優雅に、堂々と舞う演者たち

● ほたる観賞

綾子舞の後は、ほとるの観賞です。来場者は近くの小川へと足を運ぶと、そこには、雨上がりの小川の岸辺で優雅に舞うほとるたちが待っていました。来場者は思い思いに写真を撮ったり、近くまで飛んできたほとるを観察していました。

また来年も、このほとるの子どもたちに会えることを楽しみに、ほとるまつりは無事閉幕しました。